

静岡福井県人会が平成 27 年、新しい年を迎えて。

《会長メッセージ》

すっきりと晴れ渡った青空。見渡せば幾重にも連なる山々の峰、そのひとつ愛鷹山の奥に気高く雄大に聳え立つ霊峰富士山を仰ぎ見ると、朝日に照らされて、神々しいまでに白く光り輝いている姿が目の前に・・・新しい年、元旦の朝の光景でありました。

そのお山を仰ぎつつ、今年も会の皆さんと共に、健康で、明るく、元気で過ごし、より良い年であります様に・・・との願いを込めて合掌しました。本年も会員の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

平成 27 年度の新年会を開催しました。

1 月 18 日（日）12 時から静岡グランドホテル中島屋において、ご来賓の松平様、伊藤副所長、矢崎主任、竹内支社長の 4 名の方々を含む総勢 29 名で盛大に開催しました。写真の前列中央が、松平様。新入会の方が 4 名で、中列右から 4 人目が茂木さん、後列左端が高橋さん、その隣が島津さん、中央が林さんです。



「新年会を企画し、出席して・・・の感想」 — 幹事 中村正明 記 —

開会前にひと言・・・

寒い毎日が続いておりますが会員の皆様方、よいお年をお迎えになられたことと思います。今年も皆様方がお元気でお過ごし出来ることをお祈り致します。

恒例となっております新年会を本年も開催するに就いて、今年のご来賓として初めて東京から松平宗紀様をお招きしました。松平様は、江戸徳川時代に我々の故里福井の福井藩藩主である越前松平家第 20 代当主の方であります。他にご来賓として、福井県東京事務所より伊藤副所長、矢崎主任、そして名古屋より福井新聞社の竹内支社長と。合わせて 4 名の方々をお招きしての開催となりました。

まず、武長会長の挨拶で始まり、その後来賓のお2人から祝辞を戴きました。最初松平様からは「越前松平家と明治維新」をテーマとして、松平家と徳川家に纏わる歴史や、明治維新から廃藩置県への流れ、その当時の華族の処遇などを、判り易く解説して下さいました。次に、福井県東京事務所の伊藤副所長からは、舞鶴から若狭への高速道路の開通に伴う観光客の増加、北陸新幹線工事の前倒し発注、県の人口が平成26年度には70万人を割る・・・などのお話がありました。

その後、会員代表として間もなく米寿をお迎えになる鈴木昭夫様の乾杯の音頭で会食、歓談となりました。出席者のなかには、約1年ぶりにお会いする方や、故里が同じ市町の方、松平様との親交を深められた方、又今年入会された方は初めてですので、どんな感想を抱かれましたでしょうか？誠心和やかで、和気あいあい楽しいひと時、やがて閉会の時、万歳三唱、最後は記念撮影でニコニコ顔、ご来賓の方々を拍手でお見送りして、すべてが終わりとなりました。これからも会員皆様が楽しく参加出来、親睦を深めあえるように努力しますので、宜しくご協力の程お願い致します。

終わりに、静岡福井県人会が昨年25周年が過ぎ、今後30年、50年と益々発展されると共に、会員の皆様のご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げます。

「冬の味覚、カニを求めて」

— 上沢 房子 記 —

旅程、12月6、7日の一泊二日の旅を、レンタカーを利用し総勢12名で・・・

美味しい越前ガニのメッカである故里小浜を訪ねる。12月の初期ならば雪は大丈夫だろうと、本場のカニ賞味に心躍らせ乍ら待ち望む。その日が近づくにつれ天気予報が目から話せない。好天を祈りつつ待つが、予報は無常にも北陸方面の降雪の報道にガーン！。一瞬運転手のご苦労がよぎる。当日静岡は寒い乍も晴天、7：30分安全運転をモットーに車スタート。快適に東名高速を走り、やがて浜名湖サービスエリアへ、東名から名神高速へと・・・。窓外には未だ紅葉を多くとどめ移り去る風景を楽しみ乍ら、時は流れる。名古屋周辺から前方の空はどんどん曇り空、養老で休憩する。空はいよいよ怪しくなる、伊吹山は姿も見せない、北陸道に入ると窓に雨が、そしてみぞれ、更にボタン雪、周囲一面またたく間に雪原となり車の渋滞、少し動いては止まる・・・の繰り返し、敦賀まで何時間かかるやら・・・ため息。その時電話が入る、吉村氏からで敦賀に着いたとの連絡だ、我々は木之本の山の中だ・・・と。一緒に昼食の予定が出来なく、お先にどうぞ・・・となった。我々の前



途は???。除雪車が出動して前方の雪を手際よく除雪してくれる。窓外では降りそそぐ真白い雪が樹木にみるみる覆いかぶさり、それが風に揺れさらさらとこぼれ落ちる。樹木は清楚な白花の如し。道路の難儀をしばし忘れ、その風情の神秘的な美しさに感動を覚える。

15時40分頃ようやく昼食処久子に到着。食卓上の魚介類は変化に富み海の恵みを含んだ日本海の幸!。空腹と相まってその美味しさは天下一品だ!!。しかしゆっくりはしてられない、時間は大分押している、雪は未だ舞い続く。古代より旅人に語りつがれた三方五湖の素晴らしい眺望を愉しみにしていたが、視界望めぬこの気象故、一路小浜へと向かう。夕方5時30分頃ようやく宿に辿り着く。ここで吉村氏一行と合流。お互いに久しぶりの再会を喜ぶ。ホテルでの夕食タイム、昼時の満腹感は未だしっかりと・・・。遥遥静岡よりカニが目当ての旅、大皿には姿宜しく大の字に広げたカニが鎮座、さてはて食べられるかな?、カニ味噌、足、と箸を運ぶが、昼食の影響大にて味覚の堪能迄に到らず残念。翌朝早く目覚める、まだ暗い、外の燈がチラホラ、屋根には雪が・・・こじんまりした街の風景はひなびた小浜を浮立たせる。朝定刻にホテルを出発、近くにある若狭小浜食文化会館を見学、小浜と京の都との鯖街道、東大寺二月堂の若水取りとの関係、世界に誇れるお雑煮の文化など、詳しく説明を受け知的満足充分。次に敦賀へ、先ず海鮮市場へ、ここは大賑わい、カニや魚類の多かったこと。夫々買い物を楽しむ。昼食カツ丼、大盛りに驚き、静岡と全く異なったカツ丼に又びっくり、地域の違いを感じる。次に市最大の気比神宮に赴く、境内は一面雪に覆われている。足許の覚束ない履物の我々は困り、境内横まで無理やりに車を着けて、参拝する。ここで吉村氏一行とお別れし帰途へ。帰りの道路はすいすい順調に走る、大垣辺りでは、太陽の輝きと雪が交差し美しい光のパラダイスを仰ぎみる。小さな島国日本なれど、太平洋側と、日本海側との気候の違いに、日本の多様性を感じる。これがまた旅への魅力の原点かも・・・。定刻に無事静岡に到着、同行の皆様、楽しいひと時に感謝。



《 越前水仙が咲いております 》

越前水仙が県内の、焼津の朝比奈川に、静岡の城北公園に、御殿場の時の栖に咲きました。



←
焼
津
朝
比
奈
川



↑
→
静
岡
城
北
公
園



◆◆◆◆◆ 4月に開催する定期総会のお知らせ ◆◆◆◆◆

1. 日時 平成27年4月19日(日) 12時より
2. 場所 静岡グランドホテル中島屋
3. 会費 男性 5,000円 女性 4,000円 ご夫妻 8,000円
4. 議案
 - ① 平成26年度事業報告及び会計報告
 - ② 役員改選について
 - ③ 平成27年度事業計画及び予算案の審議

(同封のハガキでもご案内しております)